



ふくろい

市議会 だより

02
ページ

2月定例会の概要

04
ページ

市政に対する一般質問

10
ページ

常任委員会レポート



きれいな花びら見て見て!

4月2日桜の花が満開の南保育所では、春の穏やかな青空の下、「待ってました」と子どもたちが保育室から飛び出してきました。楽しみにしていたあこがれの年長さんになれてとてもうれしそうでした。

2月定例会

新年度各会計予算は いずれも可決

平成21年2月定例会は、2月23日から3月19日までの25日間の会期で開催されました。
今定例会では、平成20年度一般会計ほか6会計の補正予算をはじめ、平成21年度一般・特別・企業の各会計予算、袋井市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定など44議案と4件の報告、議員から提出された3議案が上程され、採決の結果、いずれも原案のとおり可決・承認されました。

なお、市政に対する一般質問は、13人の議員が市長の見解をただしました。

定例会規則改正により、本年より2月定例会となりました。

一般会計予算

新年度の予算額は289億8,000万円、前年度当初予算と比較すると2.4%増となっています。なお市民1人当たりの予算は、332,580円となります。(平成21年3月1日現在人口による)

〔主な新規事業〕

田原地区排水ポンプ整備事業	1億3,000万円
月見の里学遊館他1施設指定管理	1億2,200万円
中小企業信用保証料補助	5,000万円
たんぼぼ保育園施設整備費補助	3,556万円
小山28号線整備事業	3,080万円
袋井・愛野排水機場適正化事業	2,711万円
静岡県・袋井市総合防災訓練事業	2,500万円
田端14号線改築事業	2,050万円

特別会計予算

国民健康保険をはじめとする特別会計の予算総額は152億6,860万円で、介護保険給付費や管渠等建設費の増額により前年度比0.3%増となっています。

企業会計予算

水道事業と病院事業の企業会計予算総額は、84億9,100万円で、前年度と比較すると4.3%減となっています。



土地区画整理事業が進む田原地区

条例

《制定》

袋井市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

介護保険の第1号被保険者の保険料の急激な上昇を抑制するため、国から当該対策に係る財政措置として介護従事者処遇改善臨時特例交付金が交付されることからその交付金を基金として設置し、運用を図るため制定するものです。

市内に住所のある65才以上の方

《改正》主なもの

袋井市情報公開条例の一部改正について

公文書の公開請求における非公開とする個人情報等の定義を明確にすることで、公開手続きの迅速かつ的確な対応を可能とするため改正を行うものです。

袋井市税条例の一部改正について

個人市民税に係る寄附金税額控除について、県の指定期に合わせ必要な改正をするものです。

袋井市手数料条例の一部改正について

長期優良住宅の普及の促進に関する法律が施行されることに伴い、長期優良住宅建築等計画の認定申請手数料を追加するため改正するものです。

袋井市労働者福祉センター条例の一部改正について

労働者の雇用や福祉対策の更なる充実促進を図るため、勤労青少年ホームを転用し、一体的な施設運営により、施設の利用促進を目指すため、関係する条例について必要な改正をするものです。

袋井市国民健康保険条例の一部改正について

児童福祉法の一部改正により小規模住居型児童養育事業が実施されることから、扶養義務者のいない児童について、国民健康保険の被保険者の適用除外とするため必要な改正をするものです。

討論

(会派より)

一般会計予算に対して

反対する 「日本共産党」

本予算は、子育て支援や雇用をめぐる問題、環境の取組、農地・農業の問題に対する対策が不十分であり、国本地区整備や小笠山山麓調査、産業立地事業などの予算が大きく、全体として開発優先型の予算である。現在、地方自治体の財政を巡る状況は、大変厳しく、市民生活の状況も収入の減少、物価上昇、定率減税の廃止・控除の減少などで負担がふえ生活が大変苦しくなってきた。また地球温暖化を防ぐ取組も地方自治体として大きな課題となってきた中、地方自治体の行政運営は、開発土建型から福祉や暮らし、環境が優先される方向へ大きく転換すべきであり、本予算はそのようになっていないので反対するものである。

賛成する 「市政ふくろい」

本予算は、前年度より2.4%増の景気対応型予算であり、経済不況にもかかわらず自主財源を58.4%予算化した。一方で依存財源を41.6%と最大限確保し、市民サービスに切れ目のない事務事業ができる財源に責任を持っている。

また、歳出では、消費的経費を極力抑えて、メロイプラザ整備事業、山梨幼稚園建設事業など投資的経費を前年度対比4.7%増とし、活性化が伺える。社会資本投資が遅れている本市にとって、秩序ある税財源の確保が大切であり賛成するものである。

高木 清隆 議員

袋井市内における消防力の平準化を図るべきでは

Q 問 消防力が極めて低い山梨(北部)地域の消防力を高めるべく、山梨分署を設置すべきと提案するが。

A 答 広域化対象市町による広域消防救急運営計画策定作業において、設置について検討する。

消防救急広域化に向けた枠組みについては、どう考えているか

Q 問 消防広域化推進計画においては、中遠広域(袋井市・森町・磐田市)の枠組みで、広域化を推進すべきと提案するが。

A 答 県が示した浜松市を中心とした西部圏域ではなく、中遠地域での広域化が最良であるとする。

地域連携・医療連携に取り組むべきでは

Q 問 磐田市立総合病院との連携について、どう進めていく考えなのか。

A 答 既に、入院治療や専門的な治療では、連携を進めている。今後、新病院の建設にあたっては磐田市立総合病院とは得意分野の相互協力等について連携していきたい。



袋井消防署浅羽分署

市政に対する一般質問

よりよいまちづくりを目指して

兼子 春治 議員

国本地区の開発の進捗状況は

Q 問 国本地区の開発は、着手から3年が経過するが、どのように開発するかが市民に見えていない。早急に業者決定のためのプロポーザルコンペを実施すべきでは。

A 答 現在、農用地除外に向けて、地元地権者組織化の協議を進めている。今後も、本市の都心地域にふさわしい利便性やにぎわいづくりが供与できるよう取り組んでいく。

(仮称)掛川袋井新病院への交通アクセスは

Q 問 「新病院は遠くはなるが、不便にならない」の具体的施策は。

A 答 自主運行バス、新病院直行バスや愛野駅からのバス路線の確保等について検討する。国道以北のアクセス道路は、掛川市との調整が必要である。

荒廃農地対策についてはどう考えるか

Q 問 荒廃農地の解消対策は。また、軟弱地盤の耕作放棄地への対応は。

A 答 大型工作機械も入り込めず、大規模農家への集積も難しく、解消対策は簡単ではないが、地元地権者をはじめ、袋井市耕作放棄地対策協議会で検討する。



村松地内の荒廃農地



戸塚 文彦 議員

新型インフルエンザ対策を検討すべきでは

Q 問 いつ パンデミックが発生してもおかしくない状況の中、早急に対策行動計画の策定が必要と考えるが、予定は。

A 答 発生に向けての食糧備蓄や袋井市民病院での隔離場所を踏まえ、袋井市医師会をはじめ、関係機関と対策を検討する庁内対策会議や関係機関連絡会議を開催する。本年6月を目途に新型インフルエンザ行動計画を取りまとめていく。

(仮称)愛野幼保園は、あとわずか2年間で開園できるのか

Q 問 運営は、民営の方針であるが地元住民の意見を尊重して進めるべきと考えるが。

A 答 幼児教育組織の一元化を図るため、すこやか子ども課を教育委員会へ移管する。

袋井市幼児教育等施設整備計画に沿い、民間活力による多様な保育メニューを提供できる幼保園の設立に向けて準備を進め、できるだけ早期に計画をたて、地元への説明にとりかかっている。用地については、上石野土地区画整理地内に取得できるようお願いしていく。

パンデミック(pandemic)とは、ある感染症や伝染病が世界的に流行すること



(仮称)愛野幼保園の建設が予定されている上石野地区

芝田 禮二 議員

不況対策のさらなる充実を図るべきでは

Q 問 緊急総合経済対策に対し、商工会議所からさらなる支援が求められているが、市の対応は。

A 答 企業には信用保証料補助制度や借入金利子補給制度を活用いただくとともに、経済対策としての定額給付金、子育て応援特別手当の支給手続きを進める。

障害者自立支援法への移行による施設整備の方向性は

Q 問 認定区分 ~ と判断された方々の生活、自立訓練、就労移行支援等々、グループホーム、ケアホームの施設の充実は。

A 答 第2期障害者福祉計画において、23年度までに市内にグループホーム、ケアホーム2か所の整備を計画している。

変則交差点に信号機の設置及び安全対策を

Q 問 浅羽岡山地内の県道磐田掛川線と五十岡岡山線の変則交差点の信号機の設置及び安全施策への対応はどうか。

A 答 交差点改良について地権者と用地交渉を行っており、当面の交通安全対策として、公安委員会へ一旦停止や照明灯の設置を要望している。



浅羽地区岡山地内の変則交差点

高橋 美博 議員

現袋井市民病院維持に全力をつくすべき

Q 問 常勤の医師が年々減少している。医師確保の取り組み、見通しはどうか。

A 答 関係大学を中心に強くお願いしている。現市民病院の充実も図りながら新病院に繋いでいきたい。現在は、具体的に何年に何人の医師を派遣していただくというところまで話が詰まっていない。今後、名古屋大学、浜松医科大学を中心に話をしていきたい。

Q 問 周辺病院では安易な受診を抑制するため、時間外受診の軽症患者から特別加算料金を徴収している。市民病院の対応はどうか。

A 答 市民病院における夜間や休日の1次救急医療は、袋井市医師会の協力により、救急受け入れ患者数が半減するなど、当直医

の負担が大幅に軽減されている。このため当面は導入の必要はないと判断している。

Q 問 本市は、出生率が県下最上位にありながら出産できる施設が少ない。助産師外来や院内助産院の開設ができないか。

A 答 市民病院には、産婦人科の常勤医師がいない。分娩で予想できない事態が起こるリスクがあることなどから、現時点では院内助産院の対応は考えていない。



袋井市民病院

浅田 二郎 議員

平和・核兵器廃絶へ市の取り組みは

Q 問 2010年NPT再検討会議に向け核兵器廃絶への運動が強まっている。都市・自治体の役割も重要だが、市の取り組みは。

A 答 戦没者への追悼と平和祈願を兼ねた式典の開催をはじめ、袋井市遺族会の活動支援や原水爆禁止大会への賛助等により、平和活動への取り組みを推進している。今後も、核兵器、戦争のない平和な社会の実現に向けて努力を重ねていきたい。

Q 問 合併の検討課題でもある非核平和都市宣言で、浅羽地域の願い・思いの継承を。

A 答 この宣言の重要性や必要性は、十分に認識している。宣言する以上は、市民全体の意向が必要である。市民の機運の高まりを感じたときはそう遠くないうちに制定することも考えている。

負担増を抑え、市民生活応援を

Q 問 生活が苦しくなっている今、介護保険料、給食費、水道料金、都市計画税など市が決めるものでも市民に負担増を課すのか。

A 答 費用負担の公平を図る必要がある。所得に応じた軽減制度や減免措置を設けた中で、受益者にその行政サービスに見合った負担をしていただくことが基本と考えている。



10月4日に開催された戦没者慰霊祭

広岡 宥樹 議員

緊急総合経済対策(1億100万円)は最弱者に機能していない

Q 問 経済危機の最前線で、派遣切りなどで解雇された最弱者にどれだけの補助がされたか。

A 答 対策本部を設け、体制を強化して「市民生活の安心・安全」と「中小企業等の活力向上」を柱に対策を行っている。「市民生活の安心・安全」には、相談業務など相当の人的エネルギーをかけている。

Q 問 仕事・住居ともに失った人の相談件数はどれだけで、どう対処したか。

A 答 今年度は2月18日現在70件である。水曜日には午後8時まで相談窓口を開き、ハローワークの就職安定資金融資事業や雇用促進住宅の入居斡旋を紹介している。また、袋井市社会福祉協議会の小口福祉資金の説明や仕事先のアドバイス、公営住

宅や民間の低家賃住宅の情報も紹介している。

Q 問 3月までに全国で15万8千人、県で7万2千人が切られると見込まれているが、市としてどう対処するか。

A 答 できる限りの支援に努めている。引き続き現行の福祉制度の中で対応をしていきたい。長期化することが予想されるため、綿密な情報収集に努め、市としての役割を果たしていきたい。



緊急総合経済対策の一環として設置された外国人総合相談コーナー

大庭 通嘉 議員

JR袋井駅舎の進捗は

Q 問 JR袋井駅舎改築及び駅周辺整備の事業進捗状況はどのようになっているか。

A 答 国からルール化の通知を待っている段階であり、21年度中に覚書変更、工事協定締結ができるよう協議し、24年度末に供用開始できるよう進めたい。駅南周辺整備は、必要最小限の道路を先行させ、今年度土地区画整理事業調査を実施している。

子育て支援の充実を

Q 問 市が把握している待機児童の数と解消策をどのように考えるか。

A 答 本年4月時点で約140人の入所待ちが予想される。うち半数は認可外保育所への入所が予想され、残り70人に対しては、袋井南保育所の園舎増築、保育ママ事業、

袋井東・若草幼稚園での預かり保育での対応を考えている。待機児童の早期解消に向け最善の努力をしたい。

Q 問 認定こども園や認証保育制度を導入してはどうか。

A 答 認証保育制度は、22年度から実施予定。認定こども園は、本市で幼稚園と保育所の機能を兼ね合わせた施設を整備する際の選択肢の一つと考えている。



預かり保育が予定されている袋井東幼稚園

寺井 雄二 議員

悪臭問題について改善勧告は生かされているのか

Q 問 改善勧告が交付されたが悪臭問題解消に生かされているのか。

A 答 それぞれ改善計画が提出され、現地調査を行ったところ計画どおり実施されていることを確認した。しかし、臭気指数測定結果は、まだ規制基準を上回っているため、継続して改善対策を指導していきたい。

Q 問 悪臭対策として事業者に対して最も効果的な防止方法を指導されているのか。

A 答 県西部家畜保健衛生所や畜産環境対策協議会と協議し、事業者に対し適正に実施するよう引き続き指導徹底を図っていく。勧告に基づいて改善を図っていくよう、粘り強く実効性のあるものとなるように今後も努めていきたい。

西浅羽地区通称七曲がり道路改善について地元への取り組みは

Q 問 磐田掛川線が全線開通されれば交通危険が増す。これを解消させるため地元への話し合いが必要になるが、どのように話し合いを進めていくのか。

A 答 地元の協力が事業化に向けて必要不可欠なことと考えている。地元の状況を踏まえて県に働きかけをしていきたいと考えている。



県道磐田掛川線の通称七曲がり

久野 松義 議員

予算編成と財政改革について基準内数値かどうか

Q 問 4つの基準はクリアしているか。

A 答 実質収支比率は、約2%で、3~5%が望ましい数字である。経常収支比率は、75~80%が望ましいが、当初予算では86%。実質公債費比率は、早期健全化の基準が25%で、当初予算では15%程度と見込んでいる。将来負担比率は、350%を超えると財政健全化計画の策定が義務づけられるが、当初予算で130%と見込んでいる。

Q 問 行財政改革実施の状況は。

A 答 指定管理者制度の活用やワンステップアップ運動などの取り組みによる効果額が1億5,160万円と算出した。今後とも必要なサービスを最小の経費で最大の効果が発揮できる簡素で効率的、効果的な行政経営に努めていきたい。

発達障害者支援制度、発足して3年経過した

Q 問 発達障害者支援を年齢別、段階別の支援実績と成果で特質すべきものは。

A 答 幼年期では早期発見、学齢期では各学校で子供の状態に応じた適切な教育を行い、また、成年期では就労支援、老年期では一般の高齢者と同様の支援を行う。



指定管理者制度で管理することとなった月見の里学遊館

竹原 和義 議員

消防力の強化を

Q 問 人口1万人以上の地域には「消防出張所等」の建設が可能。山梨地区に出張所建設は。

A 答 消防の広域化の枠組みが決定され次第、広域消防救急運営計画を策定し、その中で山梨地区を含む北部地域への消防署等の設置について検討していきたい。

「中1ギャップ」の調査は

Q 問 小学6年時と比較して中学1年生の不登校増加は確認されているのか。

A 答 小学校6年生の不登校児童が平均で8人、中学校1年生では平均20人となっており、平均増加率は、2.5倍である。全国平均に比べて低いものの、中1ギャップの傾向があるものと考えられる。

JA浅羽西支店廃止後の活用は

Q 問 JA浅羽西支店を「子育て支援施設」と「老人福祉施設」での活用は。

A 答 子育て支援施設については、需要にこたえている。また、老人福祉施設については、現在当地域に施設整備の計画は入っていない。せっかくのまとまった土地であり、場所的にもいいところであるので、有効活用できるか探していきたい。



消防出張所の建設が望まれる北部地区

大場 正昭 議員

早急な対応を

Q 問 保護者の方からの意見・要望の多い幼稚園給食導入の考えは。その導入の時期はどうか。

A 答 袋井地区の11園で幼稚園給食が未実施の状況であり、袋井地区の約90%の保護者が給食実施を希望している。近隣市町の実態も踏まえ、学校給食センターの施設整備にあわせて、すべての公立幼稚園において給食を実施したいと考えている。

Q 問 市北部地域に新しい消防署分署を設置してほしい。新病院への搬送時間を短縮する上でも大切なことであり、ぜひ実現してほしい。

A 答 消防の広域化の枠組みが決定され次第、広域消防救急運営計画を策定し、その中で北部地域への消防署等の設置について検討したい。

Q 問 ペット(愛玩動物)の火葬を中遠聖苑で行ってほしい。可愛いペットをぜひ近くで葬っていただきたい。

A 答 これまで中遠聖苑では遺体の火葬を行ってきた施設であることや、汚物炉はペットを火葬する構造になっていないことから、現施設での火葬は困難であると考えている。なお、今後は施設の更新時に検討をしていきたいと考えている。



浅羽南幼稚園での給食の様子

伊豫田 貞雄 議員

主要事業の事業達成目標年度は

Q 問 JR袋井駅舎の開業時期は。

A 答 国と鉄道事業者の自由通路の整備及び管理のルール化の協議結果の正式な要綱ができ上がった段階で、新たなルールにのっとり、21年度中に覚書の変更と工事協定の締結ができるよう協議を進めている。その後、詳細設計を行い、工事着手し、24年度末までに供用開始ができるよう全力で取り組んでいきたい。

Q 問 国本地区まちづくり、商業施設整備の年度は。

A 答 地権者の意思統一がされたらプロポーザルコンペができる状態になる。地権者の意思統一を図るため、市としてもより積極的なアプローチをしていきたいと考えている。

Q 問 墓地公園整備の達成年度は。

A 答 候補地の絞り込みが難しい状況にある。しかし墓地公園については袋井市に今必要なものであるので、21年度中には候補地を確定するための地元調整を終えて、23年度中の完成に向けて推進を図っていきたい。

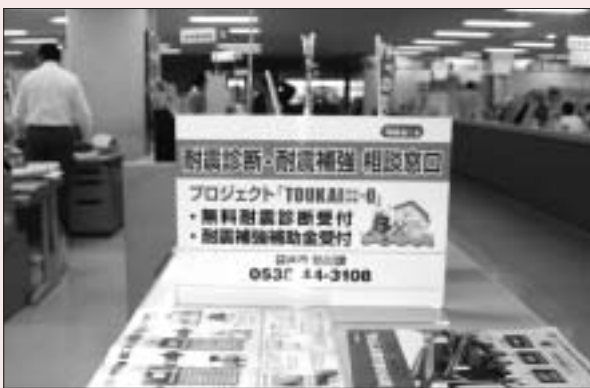


早期の工事着手が望まれるJR袋井駅舎



常任委員会レポート

平成21年度一般会計・特別会計予算などの議案を各常任委員会で審査しました。



耐震診断補強相談窓口

木造住宅の耐震化の向上を図るため、わが家の専門家診断を実施済みで、耐震補強工事未実施の家屋について、静岡県耐震診断補強相談士に戸別訪問を依頼し、住宅耐震化相談支援事業を継続して実施する。

静岡県耐震診断補強相談士によるわが家の専門家診断についてはどのように進めるか。

総務文教委員会

公立小中学校への外国人児童生徒の編入にあたり、外国人児童生徒初期支援教室には、現在、3名の支援員を配置している。
外国人転入児童生徒は、浅羽支所2階の学校教育課に来庁することから、3階の支援教室を見学体験できる利便性がある。今後、外国人児童数が増加すれば、支援員の増員について柔軟に対応していきたい。

浅羽支所にて実施する外国人児童生徒初期支援教室の体制は十分か。

総務文教委員会



保育室増築が予定されている袋井南保育所

21年度に社会福祉法人花の園会が行う「たんぼぼ保育園の園舎増築」に対して建設費を補助する。増築後の定員は30人ふえ、開園は22年4月が予定されている。工期や人材確保等、運営法人側の課題も考えられるが、できる限り早く待機児童を減らすため、年度中に開園いただけるよう協議していきたい。

待機児童解消のため、21年度は主に「南保育所園舎の増築」、「保育ママ事業」を行うということだが、年度中、さらに待機児童を減らす施策を行う意向があるか。

民生福祉
委員会

介護従事者への処遇改善のため、介護報酬を3%プラスしていくとのことだが、本当に介護従事者の処遇改善につながるのか。

民生福祉
委員会

今回の介護報酬の改定は、制度の持続を可能にするためのものであり、国においても様々なチェック機能を考えられているので、その推移を見ながら、処遇改善につながるよう支援していきたい。



ウォーキングステーション(千鳥ヶ谷池駐車場)

5年間でおおむね10カ所整備したいと考えている。設置箇所の決定時期は早いうちに県へ報告する必要があるため予算編成前にウォーキングステーションを設置する自治会へ相談したところである。

ウォーキングステーションの設置箇所が2カ所決まっているとのことであるが、どのように決まったのか。今後の設置予定は。

建設経済
委員会

メロープラザは、南部の拠点施設として活用していくものである。地域の風土や市民意識が反映されるような支援が必要だと思いが。

建設経済
委員会

この施設については、地域のみなさんの意見を踏まえ方向づけしていくこととしており、意見の取りまとめなどの支援業務を委託することとした。
現在、それぞれの事業者や団体の方から意見を聞いているところである。

5月臨時会、6月定例会のお知らせ・意見書 ほか

意見書(要旨)

地震財特法の延長に関する意見書

予想される東海地震に備えて、地震防災対策強化地域の関係地方公共団体は、地震対策緊急整備事業計画に基づき、地震対策を講じているところである。

この計画は平成21年度末で期限切れを迎えるが、限られた期間内に緊急に整備すべき必要最小限の事業をもって策定されていることから、今後実施すべき事業が数多く残されている。

また、近年の国内外における大地震により得られた教訓を踏まえ、公共施設の耐震化、避難地・避難路の整備等をより一層推進する必要がある。

したがって、東海地震による災害から地域住民の生命と財産の安全を確保するためには、地震対策緊急整備事業計画の充実と期間の延長を図り、地震対策の一層の充実に努めていかねばならない。

よって国においては、地震対策緊急整備事業計画の根拠となっている「地震防災対策強化地域における地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律」の延長について、特段の配慮をされるよう強く要望する。

衆・参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣他あてに提出しました。

5月臨時会、6月定例会は次のとおり行う予定です。

【場所】市役所5階議場または各委員会室

【時間】午前9時から

(6月定例会の最終日については、午後1時30分からは予定しています。)

【日程】<5月臨時会>

5月14日(木)議長選挙、常任委員の選任等

<6月定例会>

6月2日(火)開会、議案の説明

9日(火)市政に対する一般質問

10日(水)市政に対する一般質問

11日(木)市政に対する一般質問

15日(月)議案の審査(常任委員会)

16日(火)議案の審査(常任委員会)

23日(火)委員長報告～採決、閉会

あなたも議会を傍聴してみませんか

当日、市役所5階の議会事務局で受付をします。

足の不自由な方、妊婦の方なども段差解消機を利用し傍聴席へ入れます。赤外線補聴システム、段差解消機を用意していますので、議会事務局へ声をおかけください。



市ホームページへアクセス!

<http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>



会議録が検索できます



市議会のライブ中継を行っています



ふくろい
市議会
だより

No.20

発行/静岡県袋井市議会
発行日/平成21年4月15日

〒437-8666 袋井市新屋1丁目1番地の1
TEL.(0538)44-3143(直通) FAX.(0538)44-3148
ホームページ <http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp/>
メールアドレス gikai@city.fukuroi.shizuoka.jp



ソインキ(大豆油)キヤ
使用しています。

編集後記

今期最後の「市議会だより」の発行となりました。
シンプルで読みやすい議会だよりを目標として広報委員同、喧々諤々(けんけんがくがく)奮闘しました。
紙面を通して市議会、まちづくりへの関心を喚起できたならば幸いです。
1年間のご愛読を感謝し、改選後の広報委員にバトンタッチいたします。